

品番 RF-ND260R

上手に使って上手に節電 保証書付き

バッテリーチャージャースタンド  
 (品番 RFEB004G-A)  
 ACアダプター  
 (品番 RFEA422J-S)  
 単4形ニッケル水素充電池  
 (ケース付き) 2本  
 キーリングケース  
 (品番 RFC0065-K)  
 付属品の買い替えは、かつ  
 つい内の品番でお買い上げ  
 の販売店へ。かつつ内の品番  
 が現品の品番表示と異なる  
 場合がありますが、仕様は  
 同じです。







付属品の買い替えは、かっこ内の品番でお買い上げの販売店へ。かっこ内の品番が現品の品番表示と異なる場合がありますが、仕様は同じです。

|         |              |     |           |
|---------|--------------|-----|-----------|
| お買い上げ日  | 年 月 日        | 品 番 | RF-ND260R |
| 販 売 店 名 | ☎ (      ) - |     |           |

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2000  
RQTT0397-S F1200KY0

ご販売店さまへ 印欄は必ず記入してお渡してください。

Figure 1 is a schematic diagram of a mobile phone's side profile, focusing on the hinge mechanism. It shows two main components: a base plate and a cover plate. The base plate has a '溝' (groove) and the cover plate has a '凸部' (convex part) that fits into it. The diagram is labeled with '凸部' and '溝' in Japanese.

オートオフ  **多い**  **少ない**  
(電池残量)  
 →  →  → 

**準備** 付属の充電式電池を本体に入れる(▶上記「電池を入れる」)

ACアダプター (付属)

DC IN 4.5 V

バッテリーチャージャー スタンド (付属)

## 2

ラジオをバッテリーチャージャー  
スタンドに置き、充電する  
(充電中はラジオ動作はしません)

約 2 秒後に充電を開始します。  
 充電中 : 充電表示ランプが 2 秒  
 間隔でまばたき点滅  
 充電完了 : 充電表示ランプ消灯

付属のバッテリーチャージャースタンドは本機に付属の AC アダプター以外に使用しないでください。

充電中本体に“F76”が表示された場合、ただちに充電をやめて電池の向きを確認してください。電池の向きが正しい状態で“F76”が表示される場合は本体不良ですので本体を修理に出してください。

ニッケル水素充電式電池(HHR-4AH/2B)

# ラジオを聞く

本機には3とおりの聞き方(選局モード)があります。

**マニュアル** モード：直接周波数を合わせて聞くとき。

**エリア** モード：全国41都市とJR新幹線\*で聞ける放送局を、地域(エリア)ごとに記憶しています。エリア番号(本体後面に記載)を選ぶだけで簡単に選局できます。

**マイバンク** モード：お好みの放送局を記憶させて聞くとき。(※7ページ)

## 選局モードを切り換える

選局モードは、**マニュアル** モードと東京圏の **エリア** モードに初期設定されています。

東京圏以外の **エリア** モードで聞くときはエリア番号の設定が必要です。

**マイバンク** モードで聞くときは **マイバンク** モードの設定が必要です。

1 電源 を押して電源を入れる

2 選局モード を押すたびに以下のように表示が変わります。

オートオフ AM 画面  
522 表示なし  
(マニュアル) モードで聞くことができます。  
(※4～5ページ)

オートオフ AM 画面  
594  
(エリア) **マイバンク** モードのいずれかが表示されます。

オートオフ 画面  
モード設定画面  
(エリア) **マイバンク** モードの設定を行います。

表示が点滅中に回すと右のように表示が変わります。

**エリア** モードに設定するには  
地域のエリア番号(1～42、本体後面に記載)に合わせる。

1 選局モード を押す、あるいは5秒待つ  
オートオフ AM 画面  
594  
(エリア) **マイバンク** モードで聞くことができます。  
(※4～5ページ)

**マイバンク** モードに設定するには  
“001” **マイバンク**、“002” **マイバンク** のいずれかを選ぶ。(それぞれ18局ずつ記憶させることができます)

1 モード設定画面で表示が点滅中に回して“001”あるいは“002”を選ぶ  
オートオフ AM 画面  
594  
(エリア) **マイバンク** モードで聞くことができます。  
(※7ページ)

2 選局モード を押す、あるいは5秒待つ  
オートオフ AM 画面  
594  
(エリア) **マイバンク** モードで聞くことができます。  
(※7ページ)

\*車内FM放送サービスは、一部の車両を除く新型車両で実施されています。(詳細はJRに確認してください。)

## まず聞いてみましょう(マニュアルモード/エリアモード)

操作がわからなくなったら  
電源 を押して電源を切り、「選局モードを切り換える」  
(※3ページ)に戻ってください。

**準備1**  
インサイドホンを引き出す  
「インサイドホンの使い方」  
(※5ページ)

**準備2**  
ホールドを解除する  
「ホールド機能」  
(※4ページ)

音量を調節する  
音量  
「小」→「大」

使用後は電源を切る  
電源

1 押して電源 をいれる  
時計表示  
(※8ページ)  
「切」  
2:17  
「入」周波数表示  
522  
オートオフ AM FM

2 何回か押して  
選局モードを選ぶ(※3ページ)  
オートオフ AM 画面  
522 表示なし  
(マニュアル) モード  
オートオフ AM 画面  
594  
(エリア) **マイバンク** モード  
あらかじめエリア番号を選択してください  
(※3ページ)

3 押して  
バンドを選ぶ  
以下のように表示が変わります  
AM → FM  
↑ TV ↓

4 回して  
放送局を選ぶ  
オートオフ AM 画面  
522 周波数が変わります  
(マニュアル) モード  
オートオフ AM 画面  
594  
(エリア) **マイバンク** モード  
メモリー番号とともに、周波数が変わります

## ホールド機能

誤って操作ボタンが押されても、受け付けないようにする機能です。

次のようなことを防ぎます。  
知らないうちに電源が入る。(電池が消耗する)  
受信していた放送局が変わってしまう。

ホールド  
ホールドのとき点灯  
解除  
消灯

## インサイドホンの使い方

引き出す  
インサイドホンの下部を持つ。  
黄色いマークが見えたらそれ以上引っ張らないでください。

収納する  
途中で止まったときは、10 cm ほど引き出してからもう一度巻き取ってください。  
勢いよく巻き取ることがありますのでご注意ください。

音声出力を切り換える  
スピーカーで聞く  
インサイドホンで聞く

別売りのインサイドホンで聞く  
推奨品番 RP-HE130  
(品番は2000年11月現在のもので、品番は注プラグは変更されることがあります。)  
プラグタイプ：ミニプラグ(M3)  
本機のインサイドホンからも音が聞こえます。

## よりよい受信のために

**アンテナの調整**  
**TV、FM 放送**  
インサイドホンコードがアンテナとして働きます。  
インサイドホンコードをできるだけ伸ばして使う。  
(スピーカー使用時も同様です)

**AM 放送**  
本機の向きを調整する。  
内蔵のフェライトアンテナが働きます。

雑音が多いときは  
電源「入」時に  
を押し。  
“N クリアー”が表示されます。  
高音域が減って雑音が少なくなります。

### お知らせ

本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しているため、2または3チャンネルに、FMが混信することがあります。

### お願い

建物や乗り物の中では電波が弱まり、聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお聞きください。  
本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。  
携帯電話と本機を近づけると雑音の原因となりますので、離してお使いください。

## エリアに放送局を追加する

FM・AM・TV(バンド)各1局ずつ追加できます。  
新しい放送局が開局されたときなどに便利です。

① **エリア** モードにする。(※3ページ)

② を押して、バンドを選ぶ。押すたびにバンドが変わります。

③ 周波数が点滅するまで、 を押し続ける。(約2秒間)

以下の手順は点滅中(15秒以内)に行う

④ を回して選局する。

⑤ を押し。  
各バンドともメモリー番号 **A** として追加されます。

不要な放送局を削除するには  
① 消したい放送局を選ぶ。  
② 周波数が点滅するまで を押しつづける。(約2秒間)



以下の手順は点滅中(15秒以内)に行う

③ を押す。(“---”が点滅します。)

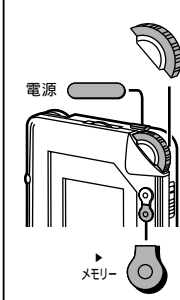
④ を押す。(選択した放送局が削除されます。)

消した放送局をもう一度使うときは  
上記①～⑤の方法でもう一度設定しなおす。  
他の地域のエリア番号を設定したあと、もう一度もとのエリア番号を設定する。(※3ページ)


マイバンク機能を使う

1 好みの放送局を記憶させるには  
あらかじめ聞きたい放送局だけを記憶させておくと、簡単に選局できます。1、2 にそれぞれFM、AM、TV 合わせて 18 局まで記憶させることができます。


**準備** ホールドを解除する(◆4 ページ)  
インサイドホンを引き出しておく。(◆5 ページ)  
(TV、FM のアンテナとして働きます。)





**1** **マイバンク** モードにする。(◆3 ページ)


**2** 周波数が点滅するまで  
メモリ   
を押す続ける(約 2 秒間)

以下の手順は点滅中(15 秒以内)に行う


**3**  をポンと押し、バンドを選ぶ  
押すたびにバンドが変わります。

**4**  を回して選局する

**5**  を押す  
メモリ番号が点滅します。

**6**  を回してメモリー番号を選ぶ


10 以上のメモリー番号は、**10+** と **1** ~ **8** の両方で表示されます。  
例：メモリー番号 18 **10+** **8**

**7**  を押す


**8** 手順 **2** ~ **7** をくり返して、他の放送局を記憶させる。

**お知らせ**  
同じメモリー番号を選ぶと、前に記憶させた放送局は消えます。


2 マイバンクで聞くには


- ① **マイバンク** モードにする。(◆3 ページ)
- ②  を回して、メモリー番号を選ぶ。  
メモリー番号とともに周波数が切り換わります。

記憶させた放送局を削除するには

**1** 消したい放送局を選ぶ。  
**2** 周波数が点滅するまで  を押しつづける。(約 2 秒間)

以下の手順は点滅中(15 秒以内)に行う

**3**  を押す。("----" が点滅します。)

**4**  を押す。(放送局が削除されます。)

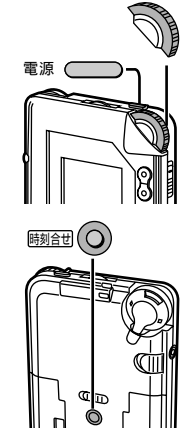
削除したメモリー番号は、飛び越して表示されます。

消した放送局をもう一度使うときは  
手順**1** ~ **7** をくり返してもう一度設定しなおす。


時計を合わせる


12 時間表示です。  
“午前 0：00”は深夜、“午後 0：00”は正午を表します。

例：午後 2 時 17 分に  
合わせる





電源が入っているときは

**1** 電源  を押して電源を切る


**2** 時計表示が点滅するまで  
 を押し続ける  
(約 2 秒間)


手順 **3** は点滅中(15 秒以内)に行う

**3**  を回して  
時刻を合わせる


**4**  を押す  
時計がスタートし、  
コロンが点滅します。


電源が入っているときは

**1** 電源  を押して電源を切る

**2** 時計表示が点滅するまで  
 を押し続ける  
(約 2 秒間)

手順 **3** は点滅中(15 秒以内)に行う

**3**  を回して  
時刻を合わせる

**4**  を押す  
時計がスタートし、  
コロンが点滅します。

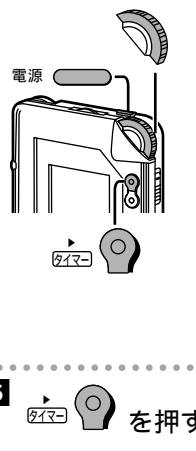
**お願い** 定期的に時刻合わせを行ってください。

アラームを鳴らす


設定した時刻になると、アラームが 3 分間鳴り続けます。(ラジオを聞いている時でも、設定時刻になると鳴ります。)


**準備** 時刻を正しく合わせておく。(◆上記「時計を合わせる」)



例：午前 8 時 30 分に  
アラームを鳴らす




電源が入っているときは


**1** 電源  を押して 電源を切る


“ ” が点灯しているときは

**2**  を押して “ ” を消す


**3** 時計表示が点滅するまで  
 を  
押し続ける(約 2 秒間)


以下の手順は点滅中(15 秒以内)に行う



**4**  を回して  
アラーム設定したい時刻に合わせる


**5**  を押す  
設定時刻になるとイヤホンから  
アラーム音が聞こえます。

電源が入っているときは


**1** 電源  を押して 電源を切る


“ ” が点灯しているときは


**2**  を押して “ ” を消す





**3** 時計表示が点滅するまで  
 を  
押し続ける(約 2 秒間)

以下の手順は点滅中(15 秒以内)に行う

**4**  を回して  
アラーム設定したい時刻に合わせる


**5**  を押す  
設定時刻になるとイヤホンから  
アラーム音が聞こえます。



**お知らせ**  
アラームは解除されない限り、毎日設定した時刻になると働きます。音声出力を  にしておくと(◆5 ページ)、スピーカーからアラーム音が聞こえます。  
アラーム音を止めるには  
どのボタンを押してもアラーム音は止まります。  
ホールド状態(◆4 ページ)のときでも操作できます。  
タイマーを解除するには

電源「切」の状態  を押し、“ ” を消灯させる。  
設定時刻を確認するには  
電源「切」、" ” 点灯の状態  をポンポンと 2 回押す。  
設定時刻が約 2 秒間表示され、そのあと時計表示に戻ります。

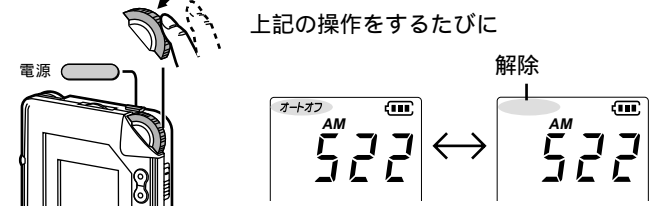
その他の機能

90 分オートパワーオフ機能について

電源を入れてから約 90 分後に、自動的に電源が切れる機能です。電源切り忘れによる乾電池の無駄な消耗を防ぎます。  
(ご購入時にはこの機能が働くように設定されています。)  
電源が切れたあと続けてお使いになりたい場合は、もう一度電源を入れてください。  
90 分以上続けてお使いになりたいときは(機能を解除するには)  
①(電源が入っているときは) 電源  を押して電源を切る。





②  を押しながら 電源  を押す。

上記の操作をするたびに



海外で受信するには

AM の周波数ステップや FM の周波数範囲は、国や地域によって異なります。海外で使用するときは、下記の操作を行ってからお使いください。

- ① 電源  を押して電源を入れる。
- ② “J” などのステップが表示されるまで、 を押し続ける  
(約 5 秒間)
- ③ (約 15 秒以内に)  を回してステップを選ぶ。  
次の順序で切り換わります。(下に回したとき)  
“J” : 国内専用  
“AM 10” : AM10kHz 地域(北米、中南米、東南アジアの一部)  
“AM 9” : AM9kHz 地域(東南アジア、ヨーロッパ)
- ④ (約 15 秒以内に) 周波数が表示されるまで  を  
押し続ける(約 5 秒間)  
途中で表示がもとに戻ったときは  
手順②からやり直す。

**お知らせ**  
ステップを切り換えると、メモリー(あらかじめ記憶されているエリアバンクは除く)は消えます。  
海外ステップ(AM 10、AM 9)のとき  
TV は受信できません。  
選局モードは、**(マニュアル)** **マイバンク** のみにになります。  
( **エリア** は使えません。)  
日本で受信するには  
手順③で“J”を選んで、設定し直してください。

ご参考

道路交通情報を聞くには

道路交通情報サービスを実施している場所で、1620kHz または 1629kHz を選局してください。

インサイドホンのからみ防止のために

使用しないときは、コードを巻き取ってください。ポケットに入りやすくなります。

液晶表示への温度の影響について

パネルの液晶表示は、極端な高/低温の場所では異常になったり、表示速度が遅くなったりすることがあります。(常温に戻すと、もとに戻ります。)

お願い


故障防止のために、以下のことは避けてください。  
強い衝撃や落下  
風呂場など湿気の多いところや、倉庫などほこりの多いところでの使用  
雨にぬらす


安全上のご注意


必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 **危険** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)


 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。


 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


本機について



 **警告**



分解・改造しない  
 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。  
点検や修理は、販売店へご依頼ください。



分解禁止  
 自動車やバイク、自転車などの運転中は、インサイドホンで使わない  
周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。  
歩行中(特に、踏切や横断歩道)でも周囲の交通に十分注意してください。

 **注意**

異常に温度が高くなるところに置かない  
 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。  
夏の閉め切った自動車内や直射日光のあたるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

 磁気の影響を受けやすいものを近づけない  
 スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく動かなくなることがあります。

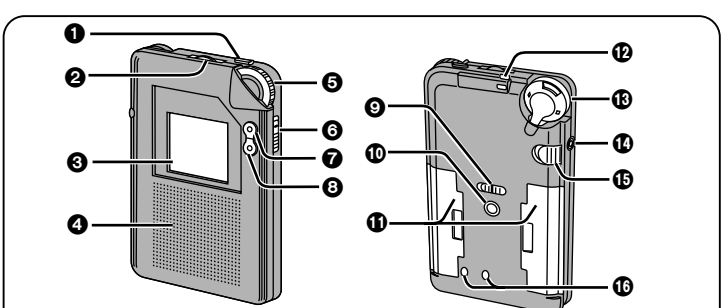
 インサイドホン使用時は、音量を上げすぎない  
 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

 インサイドホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する  
 そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。





# 各部の名称



① 電源ボタン

② 音量つまみ

③ 表示パネル

④ スピーカー

⑤ 〇 選局/↓バンドダイヤル

⑥ ホールドつまみ

⑦ 設定、ノイズクリアーボタン

⑧ メモリー、選局モードボタン

⑨ □(スピーカー)、⑩(インサイドホン)切り換えつまみ

⑩ 時刻設定 ボタン

⑪ 電池ふた

⑫ ストラップホルダー

⑬ インサイドホン

⑭ ⑩(別売りインサイドホン用)端子

⑮ 巻取り(インサイドホンコード巻き取り)つまみ

⑯ 充電端子

お知らせ

ボタン操作時に表示パネルが約 5 秒間明るくなり、暗いところで見るとに便利です。

お願い

充電端子は金属で傷をつけたりショートさせないでください。

# Operating Instructions

(Refer to the illustration above for the location of the controls.)

## Setting the time

- Press ① to turn off the power.
- Press and hold ⑩ until the time display flashes.
- Turn ⑤ to set the time.
- Press ⑩ to complete.

## Listening to the radio (TV, AM, FM)

- Pull out the earphones.
- Press ① to turn the unit on.
- Press ⑧ to select the tuning mode.  
(Free, “エ リ ア” AREA, and AREA/MY BANK change)  
Free: Select by station frequency.  
AREA: Select a station in an area.  
AREA/MY BANK change:  
Change the number.  
1-42: AREA numbers (① ② below)  
001-002: MY BANK mode 1 and 2 (① ② below)  
(Display shows flashing number and “エ リ ア”, “1”, “2”)
- (AREA or free mode) Press ⑥ to change the band.
- Turn ⑥ to select the station.
- Adjust the volume with ②.

## A AREA mode

Each AREA number represents an area in Japan and contains preset stations available in that area. The list of areas is on the back of the unit.  
Turn ⑥ to select the area number (1-42) while in the AREA/MY BANK change mode.

## B MY BANK mode

- Preset 18 stations each in MY BANK modes 1 and 2.
- Select MY BANK mode “001” or “002” (① step 3 above).
  - Press and hold ⑥ so the frequency flashes.
  - Press ⑥ to change the band.
  - Turn ⑥ to select the frequency.
  - Press ⑥ so the channel flashes.
  - Turn ⑥ to select a channel.
  - Press ⑥ to complete.

## Using the Alarm

The alarm sounds at the set time.  
Preparation: Set the time and check that “①” indicator is out.

- Press ① to turn off the power.
- Press ⑦ so “①” goes out if it is on.
- Press and hold ⑦ until the display starts flashing.
- Turn ⑤ to set the time.
- Press ⑦ to complete.  
The alarm is now set.

**Stopping the alarm.**  
Press any button while the alarm is sounding.

## Turning the timer off.

- Press ① to turn off the power.
- Press ⑦ so “①” goes out.

## Checking the set time.

- Press ① to turn off the power.
- Press ⑦ so “①” goes out.
- Press ⑦ so “①” comes on.  
The display shows the set time for about 2 seconds and then shows the clock again.

## Using the radio outside of Japan

Change the AM steps and FM range for your area.

- Press ① to turn the unit on.
- Press and hold ⑩ so “J” starts flashing.
- Turn ⑤ while “J” is flashing to select another step.  
J: Japan  
10: North and South America, parts of South East Asia  
9: South East Asia and Europe
- Press and hold ⑩ so the flashing display changes to the minimum AM frequency. The AM step and FM range change and all preset channels are erased.

## Auto off

Turns the set off after 90 minutes.

- Press ① to turn the unit off.
- While pressing ⑥, press ① to display “オートオフ”.

Repeat to turn off.

## Reducing noise

Press ⑦ to display “N クリアー”

# 主な仕様

受信周波数：

| バンド | J ステップ        | 9kHz ステップ | 10kHz ステップ     |
|-----|---------------|-----------|----------------|
| AM  | 522-1629 kHz  |           | 520 - 1710 kHz |
| FM  | 76.0-90.0 MHz |           | 87.5-108.0 MHz |
| TV  | 1-12 ch       | -         | -              |

電池持続時間（EIAJ）：

充電式電池（付属）使用時

| バンド              | インサイドホン使用時 | スピーカー使用時 |
|------------------|------------|----------|
| AM               | 42 時間      | 22 時間    |
| FM (TV 1 ~ 3 ch) | 30 時間      | 19 時間    |
| TV 4 ~ 12 ch     | 21 時間      | 14 時間    |

ナショナルネオ《黒》R03(別売り)使用時

| バンド              | インサイドホン使用時 | スピーカー使用時 |
|------------------|------------|----------|
| AM               | 36 時間      | 19 時間    |
| FM (TV 1 ~ 3 ch) | 26 時間      | 15 時間    |
| TV 4 ~ 12 ch     | 18 時間      | 12 時間    |

実用最大出力：100 mW（EIAJ）

スピーカー：2.8 cm 丸形 8

電源：DC 3 V（単 4 形電池 × 2 本使用）

最大外形寸法：55.6（W）× 91.5（H）× 13.9（D）mm（EIAJ）

本体寸法：55.0（W）× 91.0（H）× 12.5（D）mm

質量：約 80 g（充電式電池含む）

充電器：

バッテリーチャージャースタンド：

入力：DC 4.5 V、150 mA

出力：DC 3.5 V、130 mA

ACアダプター：

入力：AC 100 V、50/60 Hz、4 VA

出力：DC 4.5 V、150 mA

本体を置いていないときの充電器の消費電力：2.0 W

時計精度は室温において月差約 1 分です。

電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

本機で受信できるテレビ放送は、音声のみです。

## < 無料修理規定 >

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。  
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。  
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。  
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷  
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷  
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷  
（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷  
（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷  
（ヘ）本書のご添付がない場合  
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

## 修理メモ

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。  
保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。  
This warranty is valid only in Japan.